

SAKU らいぶ 62号 図書館だより



平成27年11月号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

〔 内容 〕

- ・タイムマシンに乗って
- ・これキテます!
- ・SAKUらセレクト
- ・季を愛でる
- ・らいぶ Question
- ・図書館閉館カレンダー

タイムマシンに乗って

作新学院大学女子短期大学部 教授 石原栄子

小学校・中学校では一つの教室ほどの図書室、高校では旧講堂を転用した天井の高い広い図書館、大学時代は地下まで開架式で個別閲覧ブースを持つさらに大きな図書館、その後もいくつかの公立図書館、企業内図書館、圧倒的蔵書数の国会図書館などを訪れてきました。そこで出会う本の記述、挿絵、写真のいずれもが過去の人々の暮らしにいざなってくれるものでした。育児文化研究の取り組みの中で、江戸期から今日までの育児書を読み続けています。文献研究は記述内容から客観的事実を積み上げることなのですが、目当ての書籍の中から関連記述を見つけた時のワクワク、ドキドキは孤独な取り組みへの大きなご褒美のように思えます。そこでは現代では見られなくなったそれぞれの時代の一端に触れることができますから。

子どもは社会の一員、時代の暮らしを反映する子育てを探究す

ることから社会の仕組みに気付かされることも多くあります。将来タイムマシンで歴史の周遊が可能になることを期待しながら、それまでは図書館で時代をさかのぼりたいと考えています。



赤ちゃんをあやす父親

(石川武美；婦人衛生と育児 昭和15)

むやみにあやしすぎたり刺戟を與へすぎではなりません。

噂にフォーカス!!

これキテます!



図書館戦争 THE LAST MISSION

監督 佐藤信介 主演 岡田准一 榮倉奈々

2013年に公開した映画「図書館戦争」の続編です。舞台は、あらゆるメディアの表現を取り締まる法律「メディア良化法」が横行する近未来の日本。検閲のために武力を行使し、本を焼き払う「メディア良化委員会」と言論の自由・表現の自由・本を読む自由を守るために組織された「図書隊」の戦いの物語です。図書隊タスクフォースのエリート堂上篤の活躍と女性隊員笠原郁の成長を描きます。

前作を上回るスケールと迫力の戦闘シーン。郁の恋の行方も気になるところです。

さて、そもそも「図書館戦争」というこのタイトル。「図書館」と「戦争」というまるで似つかわしくないワードが一緒になっていてドキッとしますね。

原作は2006年に書かれた有川浩ありかわひろの小説です。大人気を博しシリーズ化されました。本学図書館にも蔵書があるので、ぜひ読んでみてください。

有川浩が仮想した2019年はもうすぐそこ。言論の自由・表現の自由をめぐって人々が武器を持って戦うなどということが起こらないように願うばかりです。

おまけの話。この映画の撮影候補地に本学図書館の名が挙がりました。岡田准一に会えるー!と私たち司書が色めき立ったのは言うまでもありません。残念ながら選ばれなかったんですけどね。

巷で噂になっていいる本やアートにまつわるコンテンツを紹介します。映画「図書館戦争 THE LAST MISSION」は岡田准一のアクションがヤバイ!

SAKUらselect

～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～

古道具 中野商店

川上弘美 著 913.6/Ka

東京の西にある「骨董ではなく古道具」を扱う中野さんの店で、ヒトミはアルバイトをしている。ちゃぶ台やら扇風機やら皿小鉢が並ぶ店のレジに座っても、今日も客が来たり来なかったり。店主の中野さんは、飄々としてあまり商売っ気がなさそうだ。バイト仲間のタケオといい感じに進んでいたのに、この頃は気まずくて恋の一步手前で足踏みをしてしまった。

特に大きな事件が起こるわけでもない、のんびりとした古道具屋の日常を描いているようで、中野さんや姉のマサヨさんの恋の場面になると、物語はぐっと盛り上がり緊張してギラリと光ります。

ヒトミとタケオのじれったい関係を綴る一方で、大人の抜き差しならない恋心を鮮やかに切り取ります。

実は隠しテーマはここにあるのではないかと。

ちょっと難しく古めかしい言葉や言い回しが、ところどころに登場します。辞書を引きながら読み進めるのも楽しいかもしれません。



季を愛でる

図書課長 野中千秋

赤のまま

写真の花は「^{いぬたで}犬蓼」で「食べられない、役に立たない蓼」の意味がある。小さなピンク色の花は可愛らしく、犬蓼では気の毒だということなのか「赤まんま」とも呼ばれている。子供達が赤飯に見立ててママごと遊びをしている様子から名付けられたらしい。

哲学者 唐木順三は随筆「鳥と名と」の中で「名を知らないものに名を与え、それが世に通用するということの不思議さ。深い愛情と、そこばくのはにかみがあって、初めて名を与え得るのだろう。」と書いている。

赤のまま幼き記憶ひきもどす

千秋





らいぶ Question

AERA LONDON2012 福山雅治 著 より

780.6/Lo

五輪に「自然に負担をかけない」というテーマが持ちこまれたのは、(①)からですよ。世界中の人たちが注目する祭典に、そういうメッセージが付け加えられるのはとても(②)のあることだと思います。これからの五輪では、こういう配慮がさらに進んでいくんだらうな、と思いました。(③)ではこの「環境」というテーマでどんなメッセージを打ち出せるのか。そこが問われているような気がします。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。



11月7日(土)~8日(日)は作新祭です。

図書館は貸出などのサービスは行いませんが開館しています。

広いスペース、柔らかな照明。美しい図書館にぜひお越しください。

図書館開館カレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



9:00~18:00



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

Tel 028-670-3651・3652

Fax 028-670-3619

E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)

URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

